

小樽商科大学言語センター准教授・講師公募要領

小樽商科大学言語センターにおいて、下記のとおり准教授または講師を公募いたします。

記

1. 担当科目：
 - ・学部——「英語Ⅰ」「英語Ⅱ」、英語関連科目
 - ・大学院——次のうちのいずれか「応用言語学の基礎」、「テスト評価論」、「教材開発論」、「学術英語Ⅰ・Ⅱ」
 - ＊その他、「英語科教育法」などの応用言語学分野における関連科目、また「基礎ゼミナール」「研究指導」等、担当可能な科目。
2. 職名・人員： 准教授または講師 1名
3. 任期： 定めない
4. 所属学科： 言語センター
5. 専攻分野： 応用言語学および関連分野
 - ・応用言語学のうち、以下の4分野のいずれか1つ（複数であれば、より望ましい）。
 - ①言語教育、②第二言語習得、③教材開発、④英作文指導・教育
6. 応募資格：
 - (1) 博士の学位を有する方。またはこれに準ずる研究業績のある方。
 - (2) 英語で授業が問題なくできる方。
 - (3) 研究教育活動、学務諸般、および教員養成に関する業務を積極的に遂行できる方。
 - (4) 国籍は問わないが、日本語母語話者でない場合、事務的な文書業務を含む学務諸般を、問題なく遂行しうるだけの高度な日本語運用能力を有すること。
 - (5) 大学等における教育経験を有していることが望ましい。
7. 採用予定年月日： 平成31年4月1日
8. 応募締切日： 平成30年8月31日（金）午後5時必着
9. 応募書類：
 - (1) 履歴書（別紙様式による）
 - (2) 教育研究業績表（別紙様式による）
 - (3) 業績抜刷等の資料：主要業績の抜刷またはコピー3篇以内。英語論文をかならず含めること。
 - (4) 提出する(3)の資料の要約：日本語論文については英文で、英語論文については和文で、それぞれA4サイズ用紙1枚。
 - (5) 英語力を証明する文書（例—TOEFL、実用英語技能検定、TOEIC、国連英検、ケンブリッジ英語検定、IELTSなど）
 - (6) 学部および大学院の成績証明書
 - (7) 学部の卒業証明書および大学院の修了証明書（修了見込証明書）

＊(1)から(4)の資料は、紙媒体に加え、それらをPDFファイル化しCD、DVDまたはUSBメモリに収めたものを添えること。

＊なお、上記(1)(2)の様式は下記webページから取得できます。
<http://www.otaru-uc.ac.jp/info/koubo/post-13.html>

＊審査の過程で、着任後の研究計画、教育に対する抱負、推薦書等の追加資料をご提出願うことがあります。
10. 選考方法： 提出書類を審査のうえ、採用候補者数名に対し、面接および模擬授業を実施します。主に以下の三段階を予定しています。
 - ・模擬授業：英語を英語で教えるスタイルの授業。
 - ・面接1：英語と日本語にて、研究と教育に関する面接。

- ・面接2：日本語にて、本学の学務諸般に関する説明と質疑応答。
その際、学内文書の音読と内容に関する質疑応答や、業務メールの模範的やり取りなどを通して、応募資格の要件である「学務諸般を問題なく遂行しうるだけの高度な日本語運用能力」の有無を確認し、各種委員会等の学内業務の遂行能力も判断します。なお、日本語を母語としない方を排除するものではありません。

11. 書類提出先： 〒047-8501 小樽市緑3丁目5番21号 小樽商科大学長宛
(連絡先 総務課人事係 TEL：0134-27-5208
FAX：0134-27-5213
E-mail：jinji@office.otaru-uc.ac.jp)

※封筒のおもて面に「英語（応用言語学）等担当教員応募書類」と朱書きし、郵送の場合には書留便にしてください。

12. その他：
- ・本学は男女雇用機会均等法を遵守し、育児支援型勤務時間体制を導入しています。
 - ・本学では、従来の給与制度と併用して、平成26年度より年俸制を導入しております。
 - ・提出書類は原則として返却しません。申し出があった場合にかぎり返却します。返却を希望される方は、その旨を付記し、切手添付済み返却用封筒または宅配便宛名ラベル（着払い用）を同封して下さい。履歴書等の個人情報に関わる書類は、審査終了次第、廃棄いたします。